

2025年 梅まつり俳句優秀作品

芝 喜久子 選

特選

音もなく何千万の梅開く

府中市 佐久間麗子

評 郷土の森の梅の花が一斉に開きだす
見事さを音もなくと詠まれ称賛されました、
確かにと頷けます。

梅の香や石仏たちの話し声

川崎市 坂田 伸子

評 梅香る園には幾つもの道祖神が祀られています、
石仏の梅花を楽しむお喋りが聞こえてきそう。

写メールに梅の香りを撮りにけり

稲城市 萩原 一志

評 早春の梅の香まで送りたいくなったのですね、
写メールに香りは撮れましたか、ユーモラス。

臨月の腹包みをる余寒かな

府中市 高橋 幸子

評 お産の前にと梅見を楽しまれ、ふと残る寒さを感じ、
まだ見ぬ赤ちゃんに思いを馳せたのですね、
温かい母親の手も臨月の腹の上に見えます。

梅咲けば母を恋ふ日々始まりぬ

府中市 前原 直子

評 母親への思いが濃い方なのでしょう、措辞に
感じられます。清廉な梅に重なる母親への想い。

佳作

蠟梅の触るれば錆びし音すなり

日野市 西尾 京子

多摩川のここにらに渡し梅香る

立川市 細田 秋水

支へ木に余生あづけし臥竜梅

府中市 福江 洽一

しばらくは病を忘れ梅探る

練馬区 碩 真由美

みたらしの指をぺろりと梅見茶屋

小平市 水野 剛

梅真白鳥の名探す電子辞書

府中市 直木 葉子

白梅に憩ふ一服緋毛氈

府中市 勝浦 孝夫

猿芸に御祝儀弾む梅日和

府中市 島崎 栄子

竹の肌まだしらじらと春寒し

府中市 小室 清恵

梅まつりいつばいさいて雲みたい(小三)

小金井市 荻本 理歩

(敬称略 順不同)

「芝 喜久子」

府中市在住。市村究一郎に師事。
俳人協会会員。